惣鎮守として、この地域に住む

人々の安寧を護り続けています。

毎年十二月になると、私たち崇

大間々の神明宮は一町十八ヶ村のに伊勢神宮から勧請したとされる

そうです。

貞和三年 (一三四七) コンビニの数より多

71

以上あり、

照大御神を祀る全国の神社の中心

神であり、

皇室の祖先でもある天

です。日本全国には神社が八万社

伊勢神宮は私たち日本人の

総

氏

小耳にはさんだ

(文責・靖)

《317》

## 3 1 7

令和4年1月1 日発行 企画・編集 松﨑 靖 発行 ㈱足利屋洋品店

どり市大間々町4-1380(〒376-0101) Tel 0 2 7 7 - 7 3 - 1 2 1 2 Fax 0277-70-1066

から窪

塚書道教室作品

永井大翔さん、大石悠衣菜さん、 さん、両角武琉さん。小学四 た第五十六回日本北陸書道院展に き」をテーマに、 出品した十一点の力作です。 を開催いたします。作品は十一月 小学五年の諏訪花怜さん。小学六 出品者は、小学三年の園 書道 足利屋では、 」をテーマに、富山県で開かれ「純正書法、現代書芸のかがや |教室の子どもたちの作品展 大間々町の窪塚英 年の松村望咲 原天胤 年の

校一年の櫻井知紗さん。高 品には、書い 花香さん。 さん。中学二 それぞれの作 楓さん、 さん、小森夕 年の永井華稟 年の諏訪陽南 両角

柔軟な発想

さん。中学一

柔軟な発想 柔軟な発想

たときの感想

明るい声

方向に が根気強く最後まで教えてくれたの嬉しいです」(諏訪陽南)。「先生 ず、何枚も練習を続け、字を収める書きました。最初は思うようにかけ 角知紗)。 る源です。とても良いことができて とてもよかったと感じております」 があります。 L して苦しみを乗り越えれば、素晴ら た。ありがとうございました」(両 で「院賞」を取ることができまし いちゃん、おばあちゃんを元気にす ことが出来ました。この字が書けて 「あ」と い世界が待っている』という意味 ていねいな字で書かれています。 (両角武琉)。「条幅は、おじ すみとりのお母さんに感謝 向かうことを願い、この字を いう字のまるみに苦労しま 「雲外蒼天とは、 苦し かったです。 いこの現実が良い とくに 『努力

とを教えていることがわかります。 することや生きていく上で大切なこ (櫻井花香)。 |塚先生が書道を通して周囲に感謝 人一人の感想を読んでいると、

世界一小さな 利定

## レ美術館

今月の宝物 《317》

足利屋の『恵比寿大国』



れています。これらの言葉には、若き創業者であった く貧乏なし」「うん・どん・こん」などの言葉が書か となる」、「百里の道も一歩より」、「稼ぐに追いつ いて、笹に付けられた短冊には、「ちりもつもれば山 、祖父・松﨑友次の覚悟と信念が込められています。

足袋をはいた大黒様と笹を持った恵比寿様が描かれて

創業間もない頃の正月に配った引札(チラシ)には

足尾鉄道(現わたらせ渓谷鐵道)大間々駅前の停車場 友次は、東村花輪の足利屋から独立し、開業間もない

足利屋は今年で創業百九年を迎えます。

初代の松﨑

通りで足袋屋をはじめました。二十二歳の時でした。

れて

さ

1

かって右側に大歳神御壐天照皇大神宮のお札を供え物です。年末に神棚ろ)であり、鏡餅は年神 様が来訪するための依代ているためであり、門松 です。私たちが初日の出を拝むのに各家にやってくる来訪神のお札大歳神御璽のお札は、毎年正月 日に外して 飾ります。 大歳神御璽のお札は、毎年祖先である証でもあります。 5す。これは天照大御当という天皇の印が いるためであり、門松は、年に年神様が降臨すると信じられ お焚き上げをします。 般には松 飾りを外 神が天皇 す 神 れ 家

> 神様と書かれています。 子供が正月に来訪する大歳 オノミコト)であり、その 美智子上皇后陛下が国際 然観や生 が、どの 域の人々 ような自

児童図書評議会の基調講演 ような想像力を持っていた 尊び、何を怖れたか、 死観を持って いたか、 どの を

めか、民族の子供時代のよは、自分が子供であったた えると、それぞれの国や地す。これに民話の世界を加 変面白く読みました。今思 うなこの太古の物語を、 伝説は、 うのですが、一 を話されています。「私持ってきて下さった思い出 様がよく神話や昔話の本を 議とその民族を象徴しま いかもしれませんが、不思 で、疎開していた頃にお父 正確な史実ではな 国の神話や 6 族以外にも、民族の共通の\*\*\*1 説の本は、私に、個々の家\*\*1 か等が、うっすらと感じら\*\* 族以外にも、 祖先があることを教えてく や日本民族の共通の祖先と 与えてくれました」 れたという意味で、私に一  $\mathcal{O}$ つの根っこのようなもの お正月は、私たちの先祖 つながりを感じさせてく を

ん日記

・やっちゃんの似顔絵提供:ひさかさん

族で泊まって新年会さやりたくなった。 ジュクトは、一月まで延長になる、次は家毎日でも泊まりたいと思った。このプロ 宿泊料が五千円割引になる「愛郷ぐんま プロジェクト」を利用、みどり市内の方 はかり。一緒にいるだけで楽しくする。 治二食で九千円のところ、千円で泊れた。 で使えるケーボンも三千円つくので、一 でもらりことに生きかいを感じている人 ガイドの会の仲間はみな、来訪者に喜ん 会の仲間の女性たちか帰りに足利屋で スマホのワクチン手機を提示すると、 一客様は、延べ三万五千人を超えた。 動開始以来、 き迎えた活動も新型コロナの影響 草木に泊まった。若成から十一年 会議と懇親会かあり、 でガイド依頼か減ったものの、 みどり市観光がイドの会の定例 戸和三年十二月十五日 かイドを引受けた サンレイク 活

せいだったのかもしれない。

いつもより美人に見えた。気の

WW)

クーポンで買物をしてくれた。

大照堂大神宫

大歲神御雪

日 発行予定です。

虹 0 架 橋

歳神)を頒布しています。

神

:宮の

お札に

は

7神宮御 天照皇

T

(感の強い須佐之男命 (事記には、天照大御神

サ 弟

が

敬会役員が地域の家々を回

そのお札(天照皇大神宮・大は員が地域の家々を回り、神

第三百十八は令和四年二月一

検索 インターネットからでもご覧いただけます